

直観的判断を言語化・見える化で対策の質・効果を高める

問題解決プロセス・ デザイン習得セミナー

参加対象

- 中堅社員・管理職の方
- プロジェクトチームのリーダー・マネジャー・メンバーの方
- その他、問題解決プロセスをデザイン(構想・設計・計画)できるスキルを習得したい方

ねらい

このような経験はありませんか。

- 問題・課題対策の会議・ミーティングで、参加者の議論が噛み合わない。
- 問題・課題解決策が、根本的・本質的な解決になっていない。
- 自分の問題・課題解決策に、周囲のメンバー・関係者からの理解が得られない。
- メンバー・関係者を巻き込みながら、問題・課題解決策の質・効果を高めたい。
- 上司の指示や会議で決まった対策が的外れで、現場で扱いづらい。

仕事で直面するさまざまな問題に対して、これまでの経験に基づく思考・判断でスピーディに処理していることでしょう。しかしながら事業環境の変化や職場での立場・役割などから「個人の問題」から「チームの問題」「組織の問題」へと範囲が広くなり、内容も複雑化していきます。扱う情報も多くなるため、考えているうちに思考が迷子になってしまい、前に進まない、良い解決策にたどり着けない、といった状態に陥りやすくなります。

それは「思考のプロセス」を最初に自分でデザイン(構想・設計・計画)できていないことが原因です。また、自分が立案した解決策の「思考のプロセス」が明確になっていると、メンバー・関係者への説得・賛同・協力も容易になります。

本セミナーでは、正しく適切な道筋で思考し、スムーズに解決策に至るためのプロセスを、ケースを使った実践ワークを交えて習得していただきます。

開催日時

大阪開催 2024年 10月31日 木

オンライン 2025年 2月26日 水

[時間] 10:00 ~ 16:30

開催会場

日本能率協会 関西事務所 研修室
(大阪市北区梅田)

オンライン Zoom 配信

講師(敬称略)

中村 佳織 ㈱リフェイス 代表取締役
中小企業診断士

参加料(税込)

●法人会員…55,000円/1名

●会 員 外…66,000円/1名

プログラム

1. 問題解決の全体デザイン

- (1) 扱う問題のサイズと難易度
 - ・個人の問題、チームの問題、組織の問題
 - ・取り組む価値のある問題を設定する
- (2) 問題解決がスムーズにいかない理由
 - ・検討の範囲の設定が悪い
 - ・情報量が不足もしくは過多である
 - ・メンバー間での議論がかみ合わない
- (3) 思考プロセスの整理 ①現状把握→②重要問題発見→③真因特定→④課題設定→⑤解決策検討

2. フェーズ1:「現状の把握」

- (1) 現状把握のポイント
 - ・問題が起きている場所を突き止める
 - ・仮説を立て言語化する
- (2) 事実の分解整理
 - ・ものごとを切り分ける
 - ・MECE でモレなくダブリなく分ける
 - ・複数の分け方を試す **グループワーク・個人ワーク**

3. フェーズ2:「重要問題の発見」

- (1) 数字による事実把握
 - ・「変化」「ギャップ」「違和感」に着目する **グループワーク**
- (2) 重要問題のピックアップ
 - ・最初の「解決すべきテーマ」に立ち戻る
 - ・解決したい!と感じるものはどれか
- (3) 解決後の姿の明確化
 - ・具体的に表現する
 - ・SMART を意識する

4. フェーズ3:「真因の特定」

- (1) 問題発生の原因把握
 - ・問題の深堀りで真因を探る
 - ・原因仮説を立てながら深堀りする
- (2) 質の良い原因仮説の立て方
 - ・視点を「部門」から「ビジネス全体」まで上げる **セルフワーク**
 - ・汎用性の高い仮説のパターン
- (3) 原因仮説の検証と真因整理
 - ・仮説→情報→検証で真因を探る
 - ・言葉の定義を明確にしながら進める
 - ・起こっている問題を言語化しまとめる **グループワーク**

5. フェーズ4:「課題の設定」

- (1) 問題と課題の違い
- (2) 課題の優先順位
 - ・複数の課題に優先順位をつける

6. フェーズ5:「解決策の検討」

- (1) アイデア出しの流れ
 - ・アイデア出し際の条件を決める
 - ・自由にアイデアを出す
 - ・アイデアを具体化する **グループワーク**
- (3) アイデアの評価
 - ・評価軸を考える
 - ・点数付けて評価する

